

 Roland

MIDI MULTI TIMBRAL LINEAR SYNTHESIZER

JD-10

オーナーズ・マニュアル

Vol.1
基礎編

はじめに

このたびはマルチ・ティンバー・リニア・シンセサイザー D-10をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

D-10は、通常のキーボード演奏を楽しんでいただけるだけでなく、MIDIシーケンサーなどをお使いになることで、複数の音色が同時に演奏できるマルチ音源として働くなど、多彩な機能をもつ電子鍵盤楽器です。

本機の優れた機能を十分にご理解いただき、末永くご愛用いただくために、このオーナーズ・マニュアルをよくお読みくださるようお願い申し上げます。

目次

基礎編 (ボリューム1)

①各部の名称と働き	3
②D-10の概要	7
1.特長	7
2.操作モード	9
3.パーシャルと発音数	12
③接続のしかた	13
④パフォーマンス・プレイ	14
1.電源の投入	14
2.音の切り換え	15
3.演奏機能	20
a.ベンダー・レバー	20
b.ペロシティー	20
c.ホールド	20
4.リズム・プレイ	21
a.トラック・プレイ	21
b.リズム・モード	23
5.メトロノーム	29
6.マスター・チューニング	32
7.キー・トランスポーズ	33
⑤ROMプレイ	34
⑥主な仕様	36

このオーナーズ・マニュアルは、“What is MIDI”をお読みになってから、お使いください。

取扱上の注意

◇電源について◇

- 必ずAC100Vの電源コンセントに電源プラグを差し込んでお使いください。
- 電源電圧が90V以下または110Vを超えるところでは、電圧調整器で100Vにしてお使いください。
- 雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きな機器とは、別のコンセントをご使用ください。
- 電源プラグをコンセントに差し込むときは、電源スイッチをオフにした状態で差し込んでください。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードの断線やショートを防ぐため、必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源コードは傷をつけないように取り扱いってください。
- 長時間お使いにならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- この製品はAC電源を使用していますので、多少発熱することがありますが故障ではありません。
- 接続を行なう際は、必ずすべての機器の電源スイッチをオフにしてから行ってください。
- 電源スイッチをオフにした後すぐにオンにしたり、電源スイッチをオンにしたままプラグをコンセントに差し込んだときなど、正常に動作しない場合があります。このようなときは一度電源スイッチをオフにして、数秒たってから再び電源スイッチをオンにしてください。
- 外国でご使用になる場合には、前もって最寄りのローランド・サービス・ステーションにご相談ください。

◇クリーニングについて◇

- 通常のお手入れは、柔らかい布で空拭きしてください。
- 本体が汚れたときは、堅く絞った布で汚れを拭き取ってください。
- 本体の汚れが激しいときは、中性洗剤を使用して汚れを拭き取った後、必ず柔らかい布で空拭きしてください。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、絶対にご使用にならないでください。

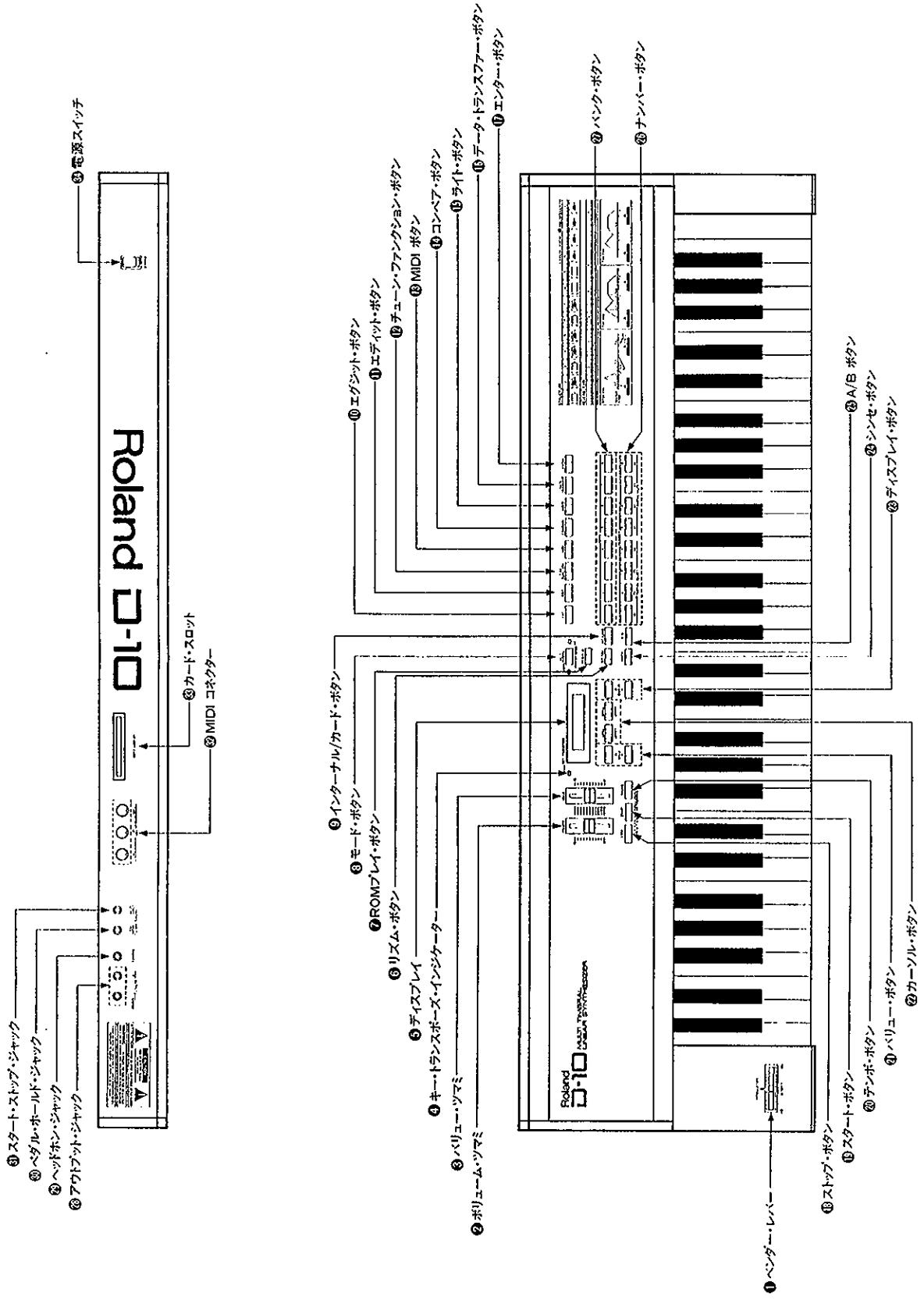
◇設定場所について◇

- 次のような場所に設置してご使用になりますと、故障の原因になりますのでご注意ください。
 - 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる所、暖房器具のすぐ近く、発熱する機器への積み重ね等）
 - 湿度が極端に高い場所
 - ホコリの多い場所
 - 振動の多い場所
- 本体の近くにネオン、蛍光灯、ブラウン管（テレビ、CRTディスプレイ）などがある場合、雑音や誤動作の原因になる場合がありますので位置を変えてください。
- 受信中のテレビ、ラジオのすぐ近くで本機を動作させますと、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオ受信機から雑音が発生することがあります。このような場合は、本機を受信機から遠ざけてご使用ください。
- 本体および電源コードの上に、重い物を乗せたり落としたりして傷をつけないように注意してください。

◇メモリー・バックアップについて◇

- 本体内には、電源オフの後もデータを保持するため、バックアップ用のバッテリーが装備されています。バッテリーの寿命は5年以上ですが、いちおう5年を目安に交換を行なう必要があります。交換の際は、必ずローランド・サービスにご相談ください。（1回目の交換時期は、5年未満になる場合があります。）
- バッテリーが消耗してきますと、電源オン時にディスプレイに次のような表示が現われます。
“Check Internal Battery”
この場合、バックアップ・メモリーの内容が失われる可能性があります。
- 修理に出される場合や万一異常な動作をしたときに、メモリー内容が消えてしまうことがありますので、大切なデータはメモリー・カードにセーブするか、データをメモしておいてください。
修理の際のデータ保存には細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などでデータが復元できない場合はご容赦ください。

1 各部の名称と働き



① BENDER (ベンダー・レバー)

ピッチ (音程) を上下させたり、ビブラートをコントロールすることができます。

② VOLUME (ボリューム・ツマミ)

アウトプット・ジャックやヘッドホン・ジャックから出力する音量レベルを調節します。

③ VALUE (バリュー・ツマミ)

設定値を大きく変更するときを使用します。演奏中はテンポの調節ができます。

④ KEY TRANSPOSE

(キー・トランスポーズ・インジケーター)

キー・トランスポーズ (移調) 機能が働いているときに点灯します。

⑤ ディスプレイ

さまざまな操作状態を表示します。

⑥ RHYTHM (リズム・ボタン)

本機をリズム・マシンとして働かせるときに押します。ボタンのインジケーターが点灯しているときにリズム・マシンとして働き、BANK と NUMBER でリズム・パターンの切り換えができます。

⑦ ROM PLAY (ROMプレイ・ボタン)

ROMプレイを行なうときに押します。ボタンのインジケーターが点灯しているときにROMプレイができる状態になり、NUMBERで曲の切り換えができます。

⑧ モード・ボタン

演奏モードの切り換え (パフォーマンス⇄マルチ・ティンバー) を行ないます。どちらのモードで使っているかは、ボタンの両側にあるインジケーターで示します。

⑨ INT/CARD (インターナル/カード・ボタン)

使用するサウンドの切り換え (インターナル=本体⇄メモリー・カード) を行ないます。

⑩ EXIT (エグジット・ボタン)

演奏以外の操作モードから、演奏状態に戻すときに押します。

⑪ EDIT (エディット・ボタン)

エディット操作を行なうときに押します。

⑫ TUNE/FUNCTION

(チューン/ファンクション・ボタン)

マスター・チューニングなどの設定を変更するときに押します。

⑬ MIDI ボタン

MIDI ファンクションを変更するときに押します。

⑭ COMPARE (コンペア・ボタン)

変更前と変更後の値を比較するときなどに使用します。

⑮ WRITE (ライト・ボタン)

ライト操作を行なうときに押します。

⑯ DATA TRANSFER

(データ・トランスファー・ボタン)

データ・トランスファー操作を行なうときに押します。

⑰ ENTER (エンター・ボタン)

エディット、ライト、データ・トランスファーなどの操作中、操作を実行するときに押します。

⑱ STOP (ストップ・ボタン)

リズム演奏をストップするときに押します。

⑬ START (スタート・ボタン)

リズム演奏をスタートするときに押します。

⑭ TEMPO (テンポ・ボタン)

テンポの値を確認するときや、メトロノームの設定を変更するときなどに押します。

⑮ VALUE (バリュー・ボタン)

設定値を微妙に変更するときに使用します。▲を押すごとに設定値が大きくなり、▼を押すごとに小さくなります。演奏中はテンポの調節ができません。

⑯ カーソル・ボタン

ディスプレイに表示されている項目を選ぶときなどに使用します。

⑰ DISPLAY (ディスプレイ・ボタン)

ディスプレイの表示画面を切り換えるときに使用します。▲を押すごとに画面が順送りに変わり、▼を押すごとに逆送りに変わります。

⑱ SYNTH (シンセ・ボタン)

リズムやROMプレイのモードからプレイ・モードに戻すときに押します。ボタンのインジケーターが点灯しているときに、BANKとNUMBERでパッチ/ティンバーの切り換えができます。

⑲ A/B ボタン

パッチ/ティンバーのグループの切り換え (A ↔ B) を行ないます。

⑳ NUMBER (ナンバー・ボタン)

プレイ・モードでは音の切り換えができますが、操作状態によってその機能が変わります。

㉑ BANK (バンク・ボタン)

プレイ・モードでは音の切り換えができますが、操作状態によってその機能が変わります。

㉒ OUTPUT (アウトプット・ジャック)

出力端子です。リズム演奏やマルチ・ティンバー・モードのときは、ステレオ出力になります。

㉓ PHONES (ヘッドホン・ジャック)

ヘッドホンを接続する端子です。(ヘッドホンはインピーダンスが8~150Ωのものが最適です。)ヘッドホンをご使用になっているときも、アウトプット・ジャックから音声が出力されます。

㉔ PEDAL HOLD (ペダル・ホールド・ジャック)

別売のペダル・スイッチ (DP-2、DP-6) を接続することで、ホールドのコントロールができます。

㉕ START/STOP (スタート/ストップ・ジャック)

別売のペダル・スイッチ (DP-2、DP-6) を接続することで、リズム演奏のスタート/ストップのコントロールができます。

㉖ MIDI コネクター

MIDI機器を接続する端子です。

㉗ カード・スロット

メモリー・カードの挿入口です。

㉘ POWER (電源スイッチ)

電源のオン/オフを行ないます。

2 D-10の概要

D-10は、キーボーディストから多重録音派まで多彩な使いこなしを可能にした、リズム・マシン内蔵のマルチ・ティンバー・リニア・シンセサイザーです。まずいくつかの特長と、操作の構成についてご説明します。

1. 特長

● LA方式の音源

すでにD-50やD-550などで高い評価を得ているLA方式の音源を搭載しています。

アナログ・シンセサイザーのように重厚なサウンドから、デジタル・シンセサイザー特有のアタッキーなサウンドまで、多彩な音色を作ることができます。

● パフォーマンス・モードとマルチ・ティンバー・モード

キーボード演奏を主体にした使いかたのできるパフォーマンス・モードと、MIDIシーケンサーなどを使うことでアンサンブル演奏が楽しめるマルチ・ティンバー・モードがあり、目的に合わせて使い分けすることができます。

● トーン

トーンとは音色の基本単位で、インターナル（本体）にプリセット・トーン128種類、プログラマブル・トーン64種類の他、プリセット・リズム・トーンが63種類あります。

● パッチとティンバー

演奏中の音の切り換えは、トーンを単純に切り換えるだけでなく、トーンをどのように演奏させるかの機能を同時に切り換えます。

パフォーマンス・モードではこの組み合わせられたものをパッチといい、それぞれに2つのトーンが割り当てられています。マルチ・ティンバー・モードではティンバーといい、それぞれに1つのトーンが割り当てられています。

● リバーブ

音に奥行き感やスケール感を与えるリバーブ（残響）効果をつけることができます。パフォーマンス・モードでは、パッチごとにリバーブ効果の設定ができます。

● リズム・トーン

リズム演奏では使えるリズム・トーンとして、プリセット・リズム・トーン63種類だけでなく、オリジナルで作ったトーンを使うこともでき、合わせて85種類まで割り当てることができます。割り当てた各リズム・トーンにはパンやレベルなどの設定ができますので、好みのステレオ・バランスで出力することができます。

●リズム・マシンとメトロノーム

内蔵のリズム・マシンには、1小節ごとのリズム・パターンがプリセットで32種類設定されている他に、オリジナルで32種類まで作ることができます。リズム・トラックには、これらのリズム・パターンを自由に並べて、1曲分のリズム演奏を行ないます。

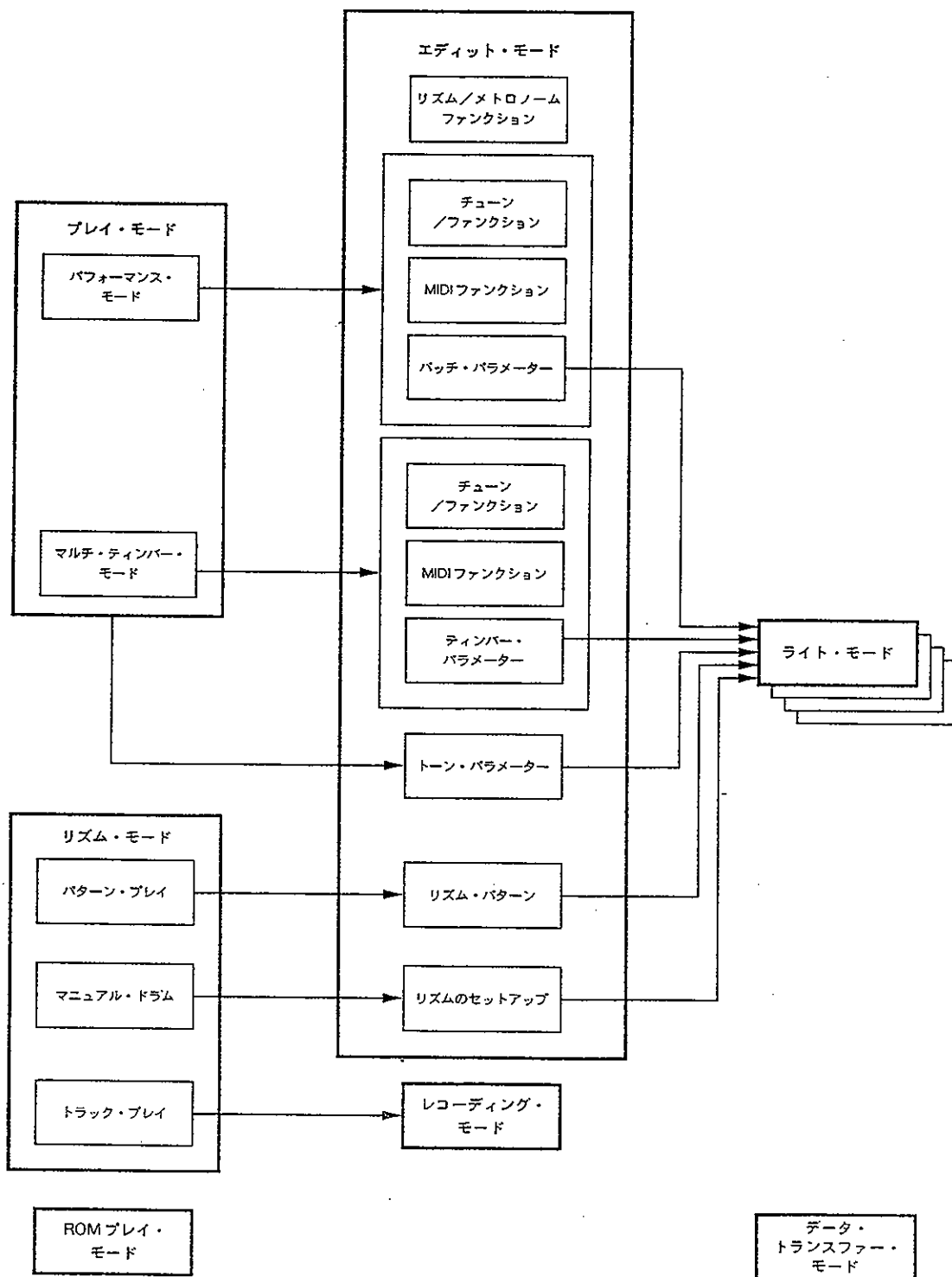
メトロノームは、キーボード演奏の練習用としてだけでなく、リズム・パターンやリズム・トラックを作るときにも活用することができます。

●メモリー・カード

別売のメモリー・カード (M-256D, M-256E) を使えば、オリジナルで作ったサウンド・データだけでなく、リズム・データも保存（記憶）することができます。なお、メモリー・カードに保存したサウンドは、簡単に呼び出して使うことができます。

2. 操作モード

D-10では、さまざまな操作をいくつかのモードに分けて整理しており、各モードによって本機の働きが変わります。



【プレイ・モード】

演奏を行なう通常のモードです。パッチ／ティンバーの切り換えで希望するサウンドを呼び出して演奏することができます。D-10では、使用する目的に合わせて2種類の使い分けができるようになっています。

●パフォーマンス・モード

キーボード演奏を主体とした使いかたのできるモードです。リズムを自動演奏しながらキーボード演奏が楽しめます。

●マルチ・ティンバー・モード

リズム・マシンと8つの独立したシンセサイザー音源として扱えるモードです。MIDIシーケンサーなどを使うことで、手軽にアンサンブル演奏が楽しめます。

【リズム・モード】

本機をリズム・マシンとして扱えるモードです。リズム・パターンの切り換えや、キーボードでリズム・トーンのマニュアル演奏などができます。

【エディット・モード】

様々な要素の設定を修正、変更する操作をエディットといい、エディット操作を行なう状態をエディット・モードと呼びます。

エディットした設定は、そのまま本体に記憶されるものもありますが、音色やリズム・パターンなどの設定については一時的なもので、そのままでは記憶されません。そのような要素については、ライト操作を行なって記憶させます。

【レコーディング・モード】

リズム・トラックに演奏データを記録する操作をレコーディングといい、レコーディング操作を行なう状態をレコーディング・モードと呼びます。

【ライト・モード】

エディットした設定を本体やメモリー・カードに記憶する操作をライトといい、ライト操作を行なう状態をライト・モードと呼びます。

【データ・トランスファー・モード】

本体とメモリー・カード、本体と他のD-10などとの間で、データをまとめてコピーする操作をデータ・トランスファーといい、データ・トランスファー操作を行なう状態をデータ・トランスファー・モードと呼びます。

【ROMプレイ・モード】

マルチ・ティンバー機能を生かしたROMプレイ（P.34参照）を行なうモードです。

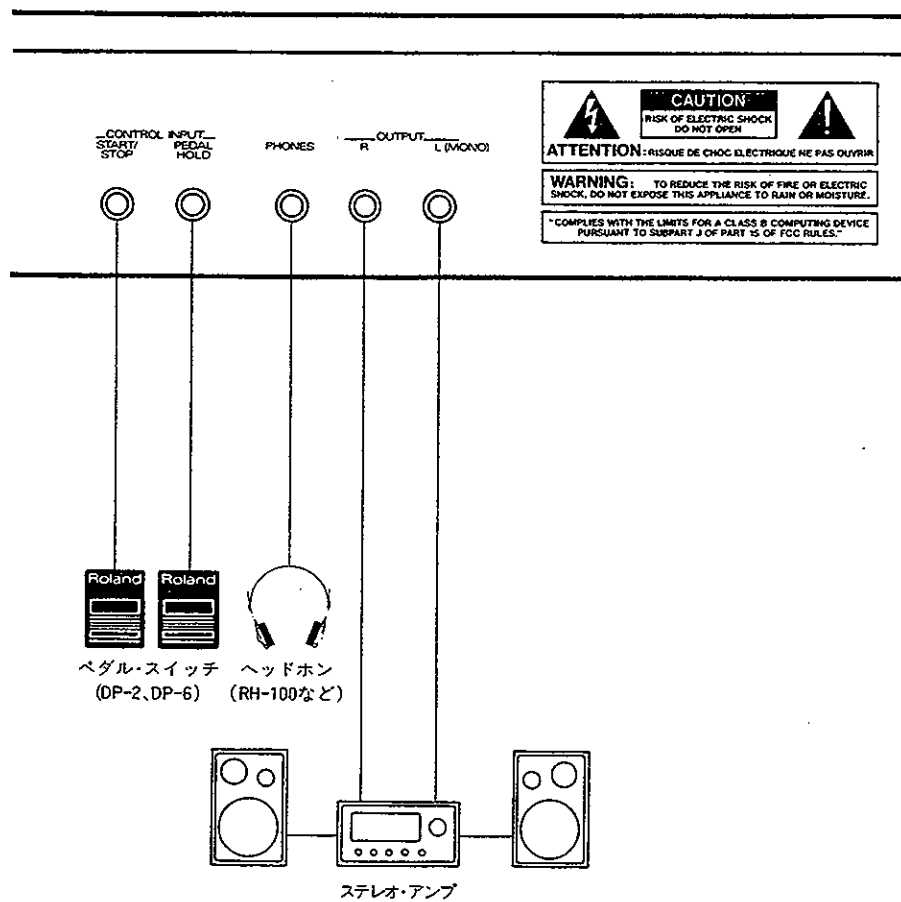
3. パーシャルと発音数

D-10は、最大32音まで同時に発音することができますが、正確には32個のパーシャルを使って発音することになります。

パーシャルとは、トーンを構成している音源の最小単位で、1つのトーンに4つまでのパーシャルを使うことができます。単純なトーンであれば1つのパーシャルで作られていますが、通常は複数のパーシャルを組み合わせると1つのトーンが作られています。たとえば、2つのパーシャルで作られているトーンでは同時に16音を、4つでは同時に8音を発音することができます。

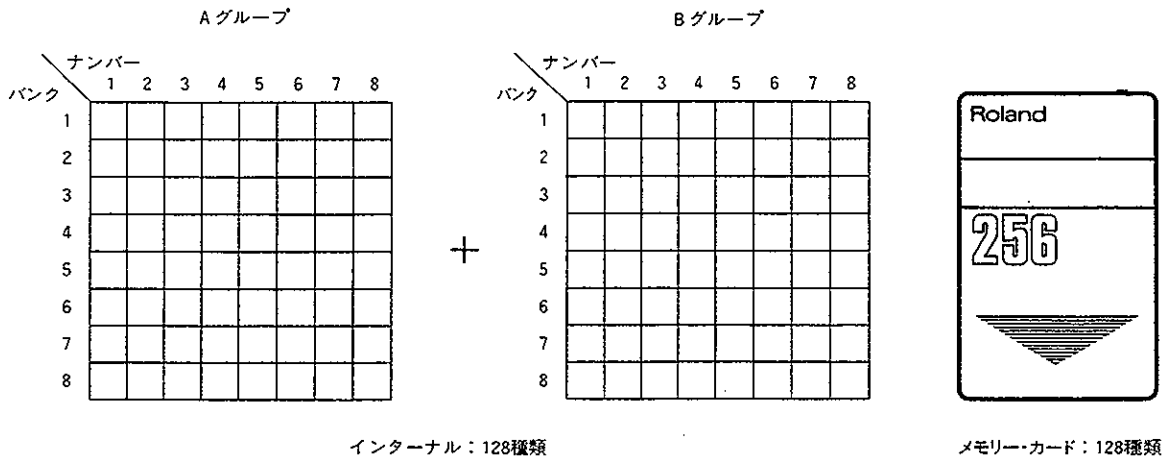
このように、選んだトーンによって同時に発音できる音数が増減します。特にマルチ・ティンバー・モードでは、複数のトーンを同時に扱いますので、このことを十分考慮してお使いください。

3 接続のしかた

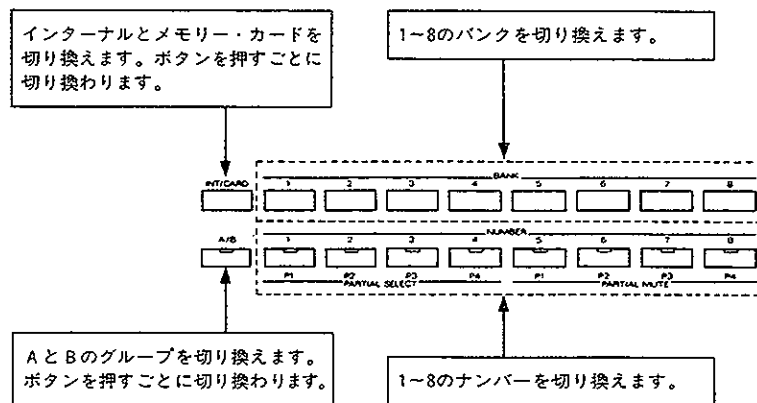


2. 音の切り換え

パッチはAとBのグループに分かれ、それぞれ8つのバンクと8つのナンバーによって整理されています。インターナル（本体）には128種類、メモリー・カードを使用すればさらに128種類のパッチを記憶することができ、計256種類のパッチを切り換えることができます。

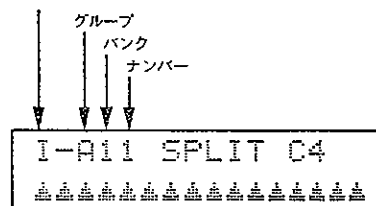


パッチの切り換えには次のボタンを使いますが、最後にナンバーを指定しないと、そのパッチには切り換わりません。ナンバーだけを指定した場合は、そのまま切り換わります。



<ディスプレイ>

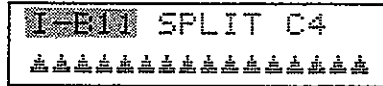
インターナルのときは "I" と表示
メモリー・カードのときは "C" と表示



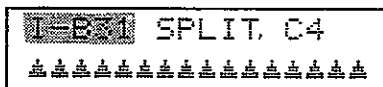
【操作例】

I-A11 から I-B31 に切り換える場合

① A/B を押します。

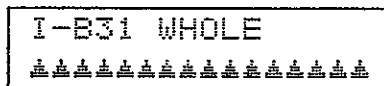


② BANK の 3 を押します。



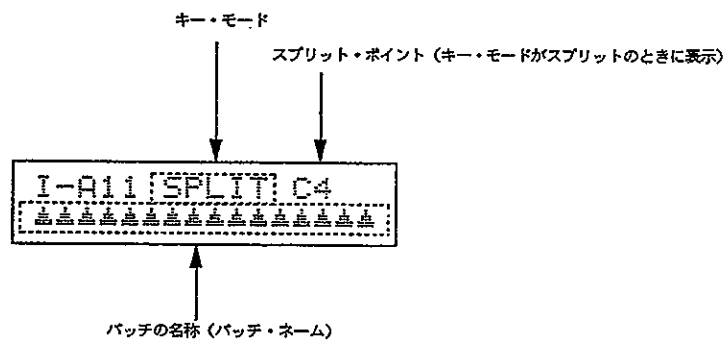
③ NUMBER の 1 を押します。

I-B31 のパッチに切り換わります。



【表示】

ディスプレイには、選んだパッチの設定が表示されます。



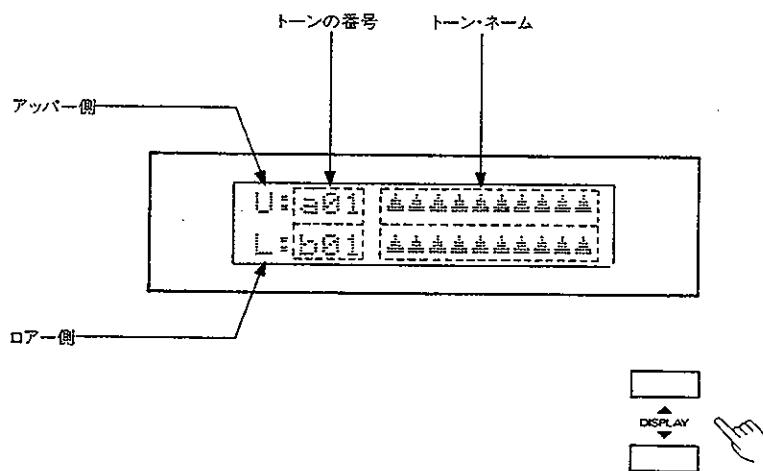
[キー・モード]

各パッチには、2種類のトーンが割り当てられています。キー・モードは、これらのトーンをどのように発音させるかを定める機能です。

- WHOLE (ホール) : アッパーのトーンだけを発音
- DUAL (デュアル) : アッパーとローアのトーンを重ねて発音
- SPLIT (スプリット) : スプリット・ポイント (キーの位置) 境に、アッパーとローアのトーンを分けて発音。2種類のトーンを同時に扱えます。

*D-10は、選んだパッチの設定、あるいはリズム演奏を行なうことによって、同時に発音できる音数が変わります。

選んだパッチに割り当てられているトーンを確認したい場合は、どちらかのDISPLAYを1回押します。DISPLAYを押し直すごとに、交互に画面が切り換わります。



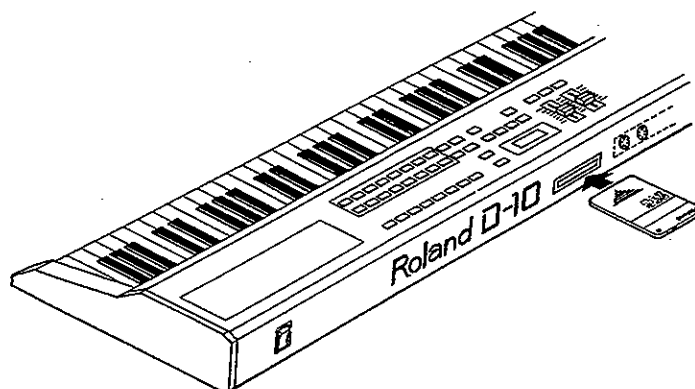
【メモリー・カード】

メモリー・カードには、パッチ/ティンバーやトーンサウンド・データだけでなく、リズムのデータも保存しておくことができます。

*メモリー・カード (M-256D, M-256E) は、ご購入時にはデータが記憶されていませんので、そのままの状態では使用することができません。あらかじめ『セーブ』の操作 (☞応用編 P.127 参照) を行なって、本体のデータをすべてメモリー・カードに記憶させてからお使いください。また、他のデータが記憶されているメモリー・カードを D-10 用としてご使用になる場合も、同様の操作を行なってください。

操作 1

メモリー・カードのパッチを使用する場合は、メモリー・カードの挿入方向を確認の上、カード・スロットに確実に挿入します。



操作 2

INT/CARDでメモリー・カードのパッチに切り換えます。

*メモリー・カードが挿入されていないか、確実に挿入されていない場合は、次の画面がしばらく表示され、切り換えることはできません。

Card Not Ready

*D-10/20以外のデータが記憶されているメモリー・カードを使用すると、次の画面がしばらく表示され、切り換えることはできません。また、D-110とは、ティンバー／トーン／リズムのセットアップのデータに互換性がありますので、本機をマルチ・ティンバー・モードで演奏されている場合は使用することができます。

Illegal Card

メモリー・カードには次の2種類のタイプがあります。

ROMカード

記憶されているデータの修正はできませんが、半永久的にデータが記憶されています。別売のサウンド・ライブラリーは、このタイプです。

RAMカード

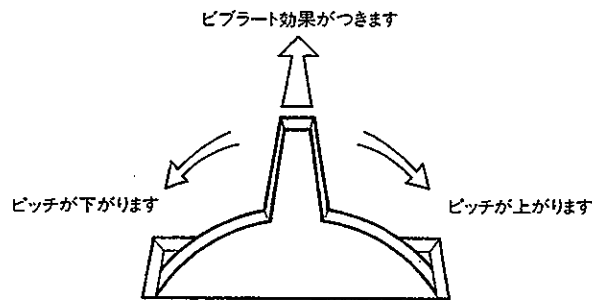
記憶したデータは何度でも修正でき、データを保存するための電池が内蔵されています。別売のメモリー・カード (M-256D, M-256E) は、このタイプです。オリジナルで作ったサウンド・データなどを保存する場合にお使いください。

3. 演奏機能

演奏中、各種の演奏機能で音色をコントロールすることができます。

a. ベンダー・レバー

ベンダー・レバーを動かすことで、ピッチ（音程）を変化させたり、ビブラートをつけることができます。



*ピッチやビブラートの変化の深さは、サウンドに合った設定がされていますので、選んだパッチによって異なったり、変化しないこともあります。

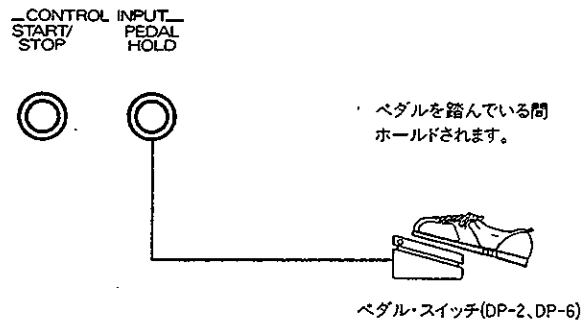
b. ベロシティー

キーを弾くタッチの強弱で、音色や音量に変化をつけることができます。

*ベロシティーの変化は、サウンドに合った設定がされていますので、選んだパッチによって異なったり、変化しないこともあります。

c. ホールド

キーを離しても音が持続する機能をホールドと呼びます。ペダル・ホールド・ジャックにペダル・スイッチを接続することによりコントロールできます。



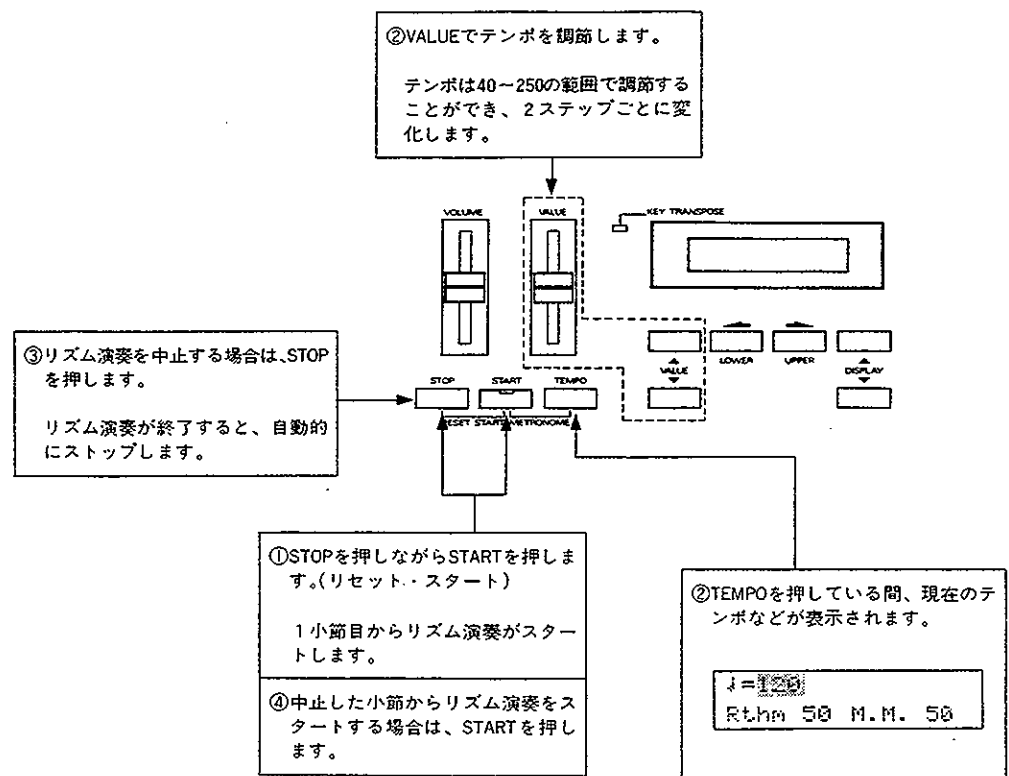
4. リズム・プレイ

リズム・トラックや特定のリズム・パターンを自動演奏しながらキーボード演奏を行ったり、キーボードでリズム演奏が楽しめます。

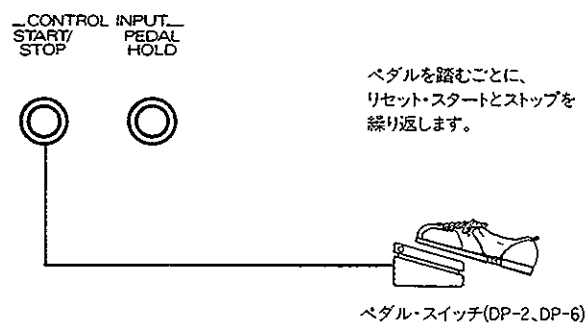
* マルチ・ティンバー・モードでも同様の操作が行なえます。

a. トラック・プレイ

電源投入時は、リズム・トラックの自動演奏ができます。



スタート/ストップは、ペダル・スイッチをスタート/ストップ・ジャックに接続することにより、コントロールすることもできます。



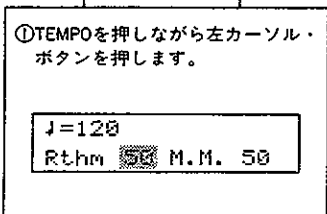
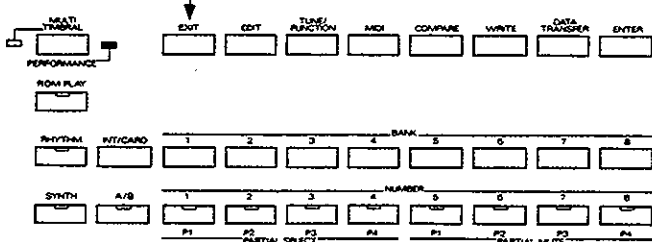
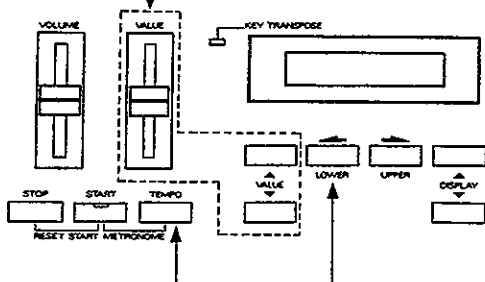
【音量レベルの調節】

リズムの音量レベルは、次の操作で調節します。

* 音量レベルの設定は、電源をオフにしても失われません。

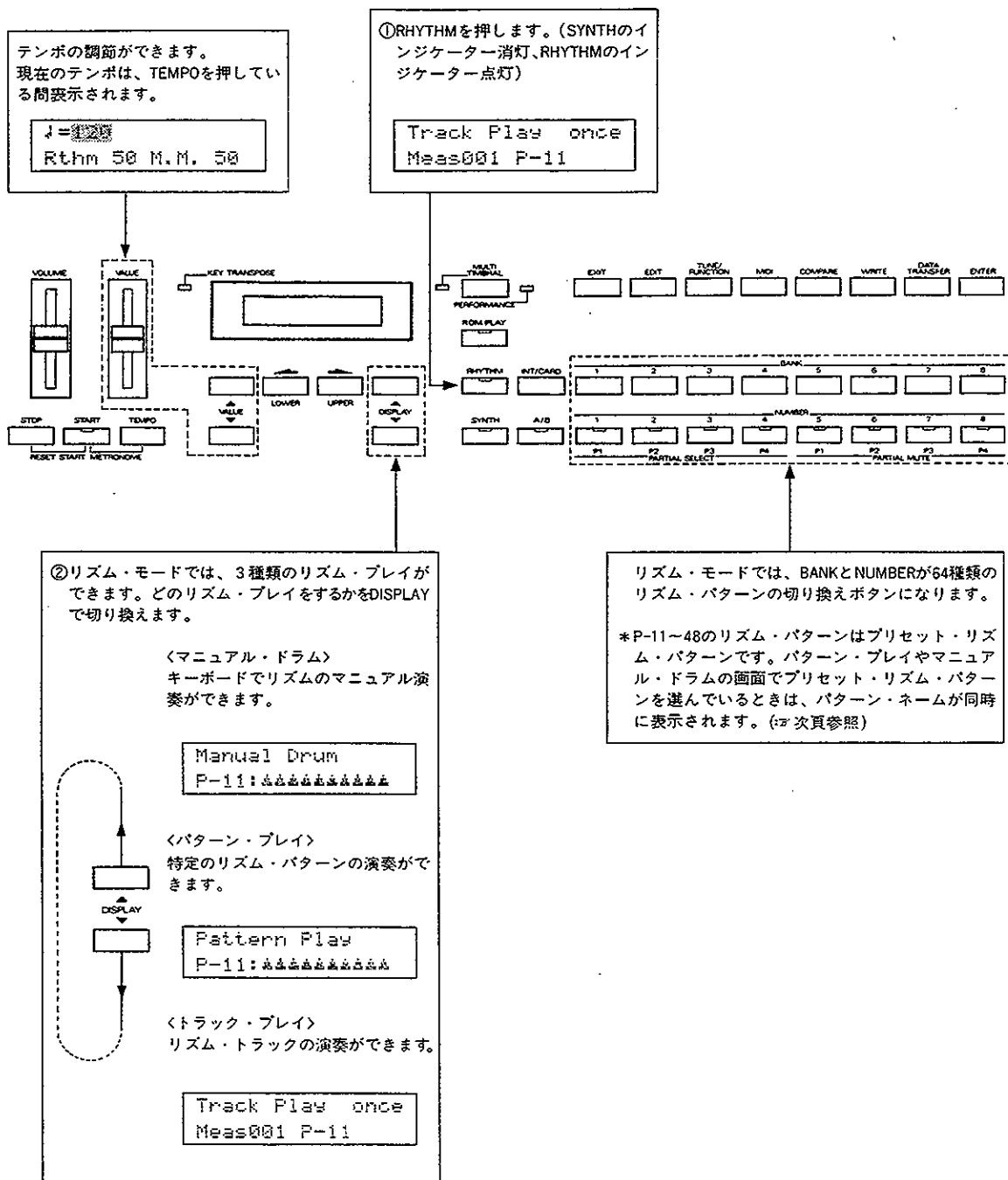
②VALUEで音量レベルを調節します。
0~100の範囲で設定でき、設定値を大きくするほどレベルが大きくなります。

③EXITを押し、元の画面に戻します。



b. リズム・モード

リズム・モードでは、D-10をリズム・マシンとして扱えます。リズム・パターンの切り換えや、キーボードでリズムのマニュアル演奏ができます。



プリセット・リズム・パターン

ナンバー バンク	1	2	3	4	5	6	7	8
1	8ビート-1	8ビート-2	8ビート-3	8ビート-4	8ビート-5	8ビート-6	バラッド	レゲエ
2	16ビート-1	16ビート-2	16ビート-3	16ビート-4	16ビート-5	16ビート-6	シャッフル-1	シャッフル-2
3	ディスコ-1	ディスコ-2	エレクトリック ・ポップ-1	エレクトリック ・ポップ-2	ジャズ-1	ジャズ-2	ジャズ-3	ジャズ・ワルツ
4	サンバ-1	サンバ-2	サンバ-3	ボサノバ-1	ボサノバ-2	マンボ	メレンゲ	ルンバ

トラック・プレイやパターン・プレイでは、RHYTHMを押す前に選んでいたパッチ/ティンバーでキーボード演奏ができます。

リズム・モードからプレイ・モードに戻すときはSYNTHを押しますが、どのリズム・モードの画面から戻るかによって、プレイ・モードでのリズム演奏が変わります。ただし、一旦電源をオフにすると、リズム・トラックの自動演奏ができる状態に戻ります。

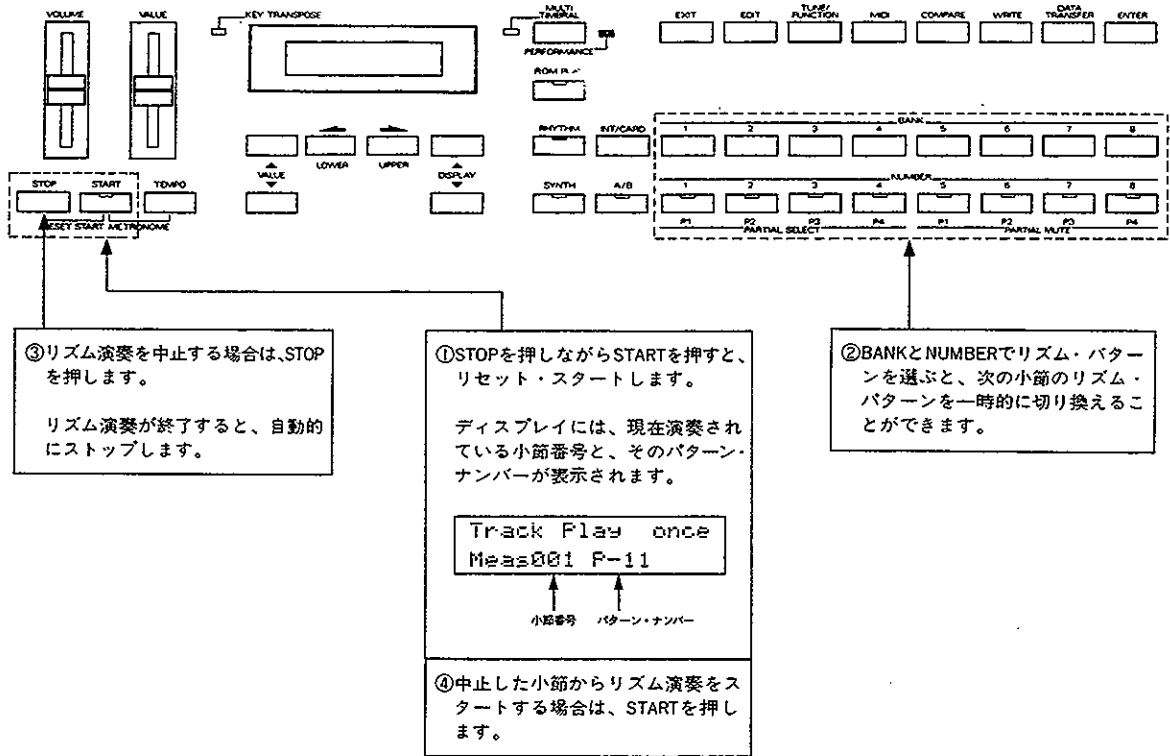
○トラック・プレイの画面でSYNTHを押すと、プレイ・モードではリズム・トラックの自動演奏ができます。

○パターン・プレイかマニュアル・ドラムの画面でSYNTHを押すと、プレイ・モードではリズム・パターンの自動演奏ができます。

プレイ・モードで自動演奏できるのは、SYNTHを押す直前に選んでいたリズム・パターンです。

【トラック・プレイ】

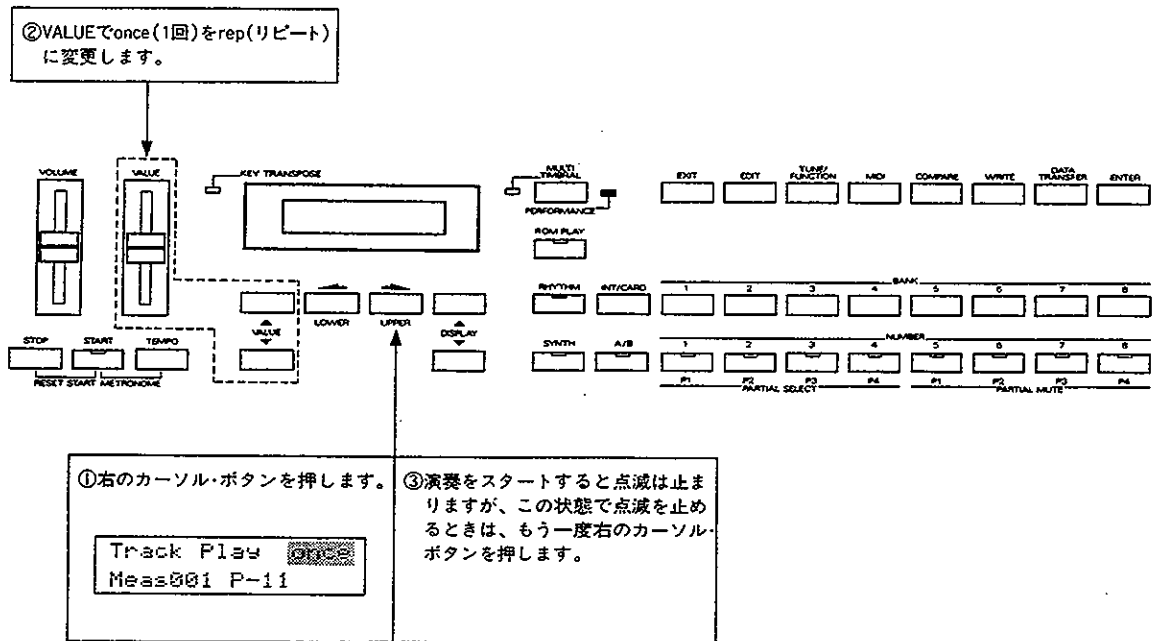
トラック・プレイでは、リズム演奏の進行を確認しながらリズム・トラックの自動演奏ができます。



●リピート演奏

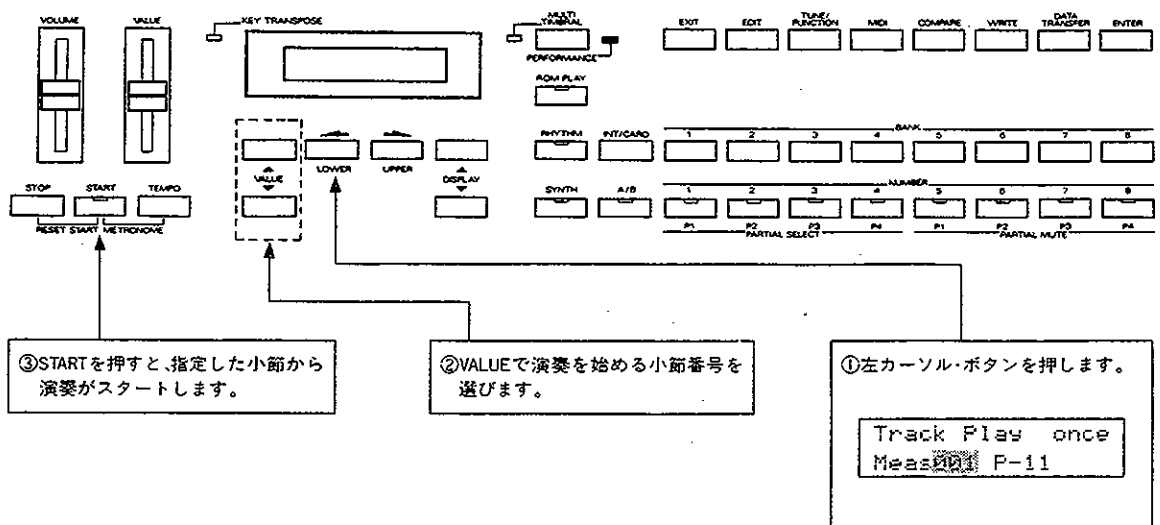
リズム・トラックのリピート（繰り返し）演奏をする場合は、ストップ状態で次の設定を行ないます。

*リピート演奏の設定は、電源をオフにしても失われません。



●途中の小節からの演奏

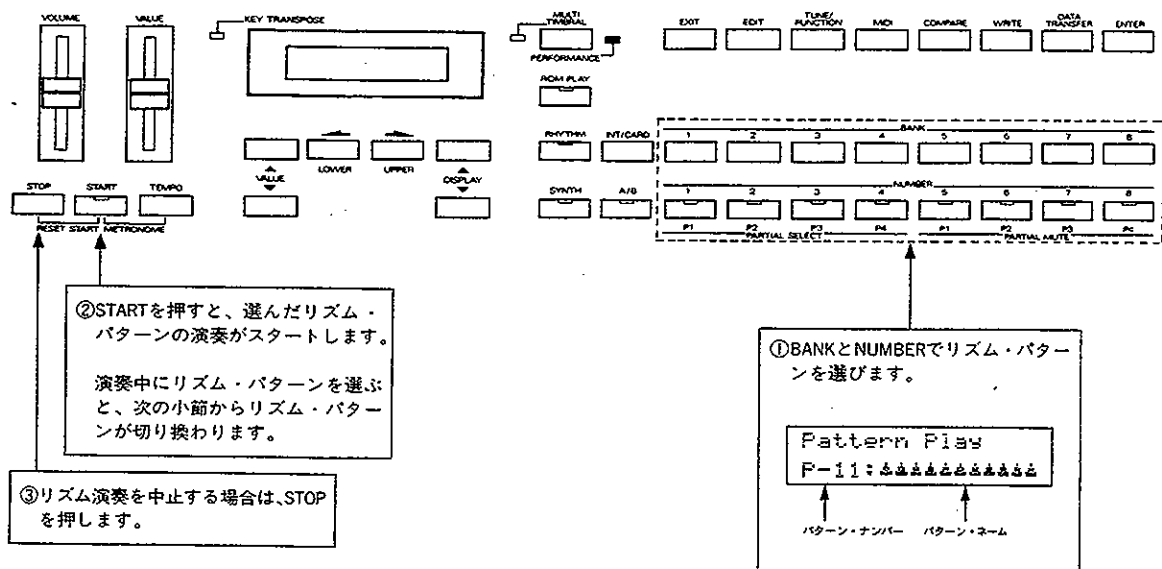
途中の小節から演奏を始める場合は、次の操作を行ないます。



*VALUEツマミでは、小節の指定はできません。

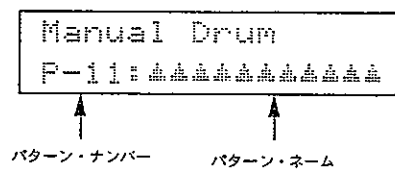
【パターン・プレイ】

特定のリズム・パターンを自動演奏しながら、キーボード演奏を楽しむことができます。



【マニュアル・ドラム】

キーボードでリズムのマニュアル演奏ができます。STARTを押せば、表示のリズム・パターンを鳴らすことができますので、それに合わせて演奏を楽しむことができます。



r63	Native Drum-3	
r62	Native Drum-2	C7
r61	Native Drum-1	
r09	Ride Cymbal (short)	
r34	High Tom Tom-3	
r06	Crash Cymbal (short)	
r35	Middle Tom Tom-3	
r02	Closed High Hat-2	
r36	Low Tom Tom-3	
r24	Snare Drum-6	
r23	Snare Drum-5	
r22	Snare Drum-4	
r18	Bass Drum-4	
r17	Bass Drum-3	C6
r60	Bell	
r59	Wood Block	
r37	High Pitch Tom Tom-1	
r58	Triangle	
r38	High Pitch Tom Tom-2	
r57	Castanets	
r27	Brush-2	
r26	Brush-1	
r56	Claves	
r12	Cup (mute)	
r55	Quijada	
r54	Long Whistle	C5
r53	Short Whistle	
r52	Maracas	
r51	Cabasa	
r50	Low Agogo	
r49	High Agogo	
r48	Low Timbale	
r47	High Timbale	
r46	Low Conga	
r45	High Conga	
r44	High Conga (mute)	
r43	Low Bongo	
r42	High Bongo	C4(中央C)
r10	Ride Cymbal (mute)	
r21	Snare Drum-3	
r07	Crash Cymbal (mute)	
r41	Cowbell	
r14	Splash Cymbal	
r40	Tambourine	
r11	Cup	
r13	China Cymbal	
r08	Ride Cymbal	
r31	High Tom Tom-2	
r05	Crash Cymbal	
r28	High Tom Tom-1	C3
r32	Middle Tom Tom-2	
r03	Open High Hat-1	
r29	Middle Tom Tom-1	
r04	Open High Hat-2	
r33	Low Tom Tom-2	
r01	Closed High Hat-1	
r30	Low Tom Tom-2	
r20	Snare Drum-2	
r39	Hand Clap	
r19	Snare Drum-1	
r25	Rim Shot	
r16	Bass Drum-2	C2
r15	Bass Drum-1	

工場出荷時は、左図のように各キーにリズム・トーンが割り当てられており、該当するキーを叩くと、そのリズム・トーンが鳴ります。

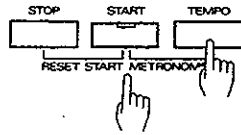
*リズム・トーンの割り当てや出力バランスを好みに応じて変更することができます。変更する場合は、『リズム音のセットアップ』(☞応用編 P.25参照)をご覧ください。

*キーボードの音域を移動する場合は、『キー・トランスポーズ』の操作(☞P.33参照)を行なってください。

5. メトロノーム

メトロノームは、キーボード演奏の練習用に使ったり、リズム演奏データを作成する場合に活用することができます。

メトロノームだけを鳴らす場合は、TEMPOを押しながらSTARTを押します。



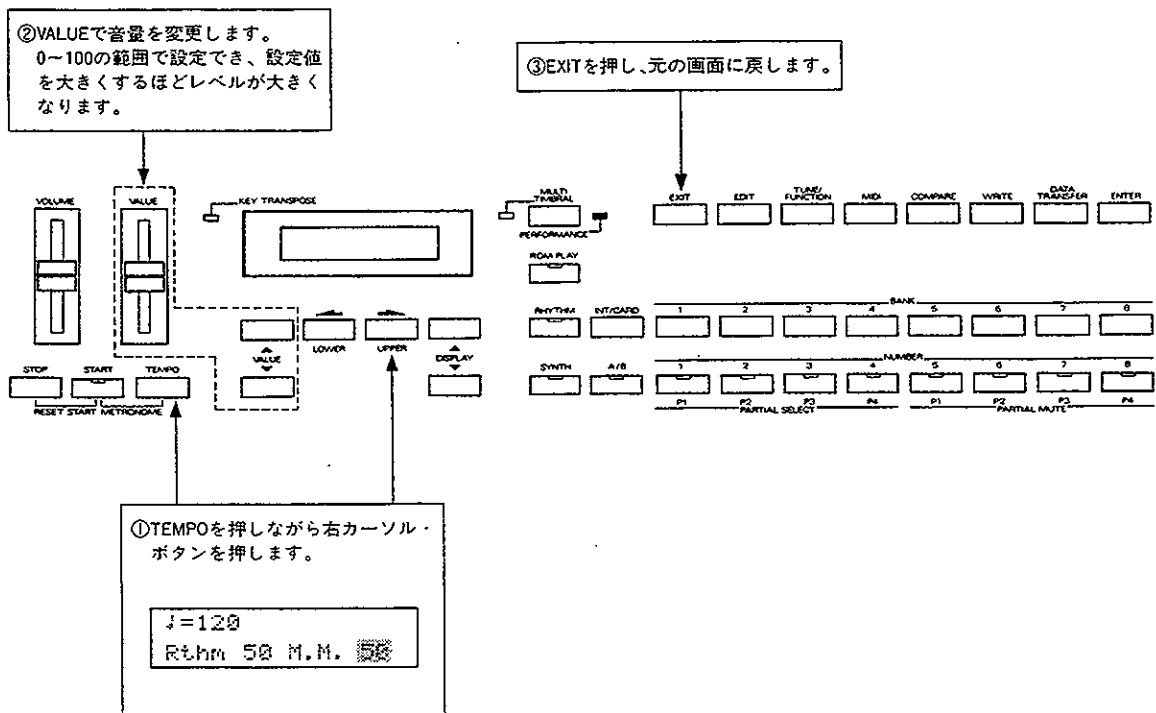
STARTのインジケータは、強拍で赤、弱拍で緑に点灯します。

メトロノームをストップするときは、STOPを押します。

【音量レベルの調節】

メトロノームの音量レベルは、次の操作で調節します。

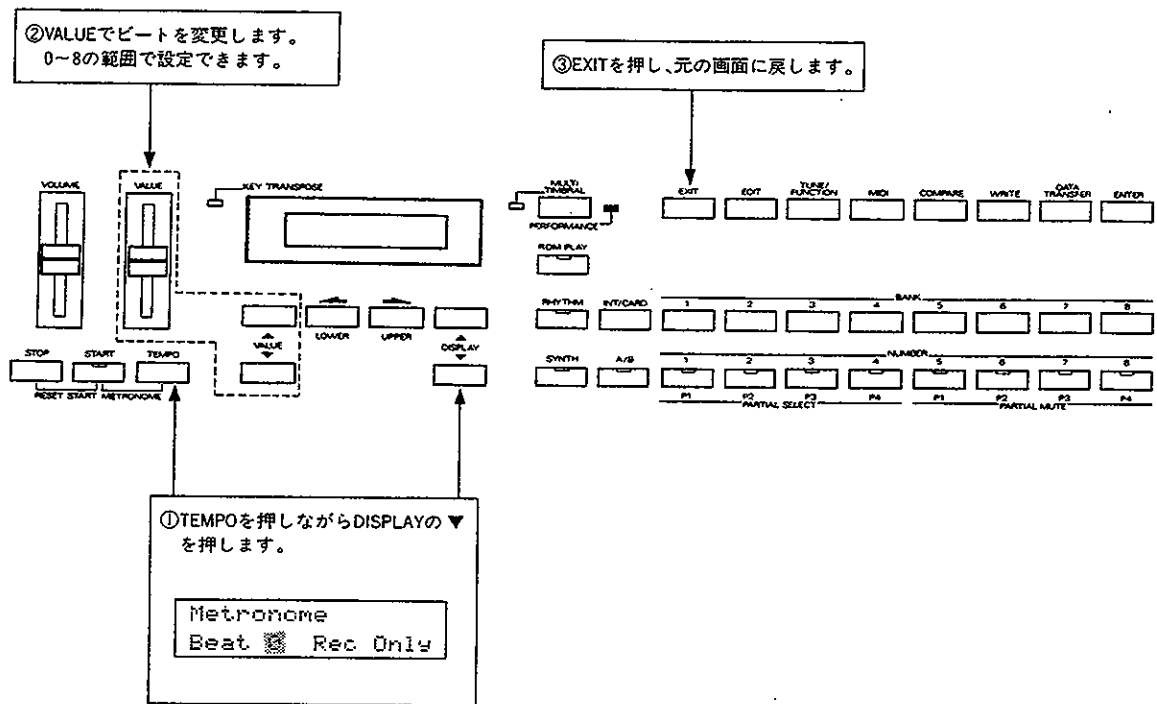
* 音量レベルの設定は、電源をオフにしても失われません。



【ビートの設定】

メトロノームを単独で鳴らすときのビートは、次の操作で変更することができます。なお、レコーディング時などには、ビートの設定にかかわらず、リズムの拍子に合わせてビートをとります。

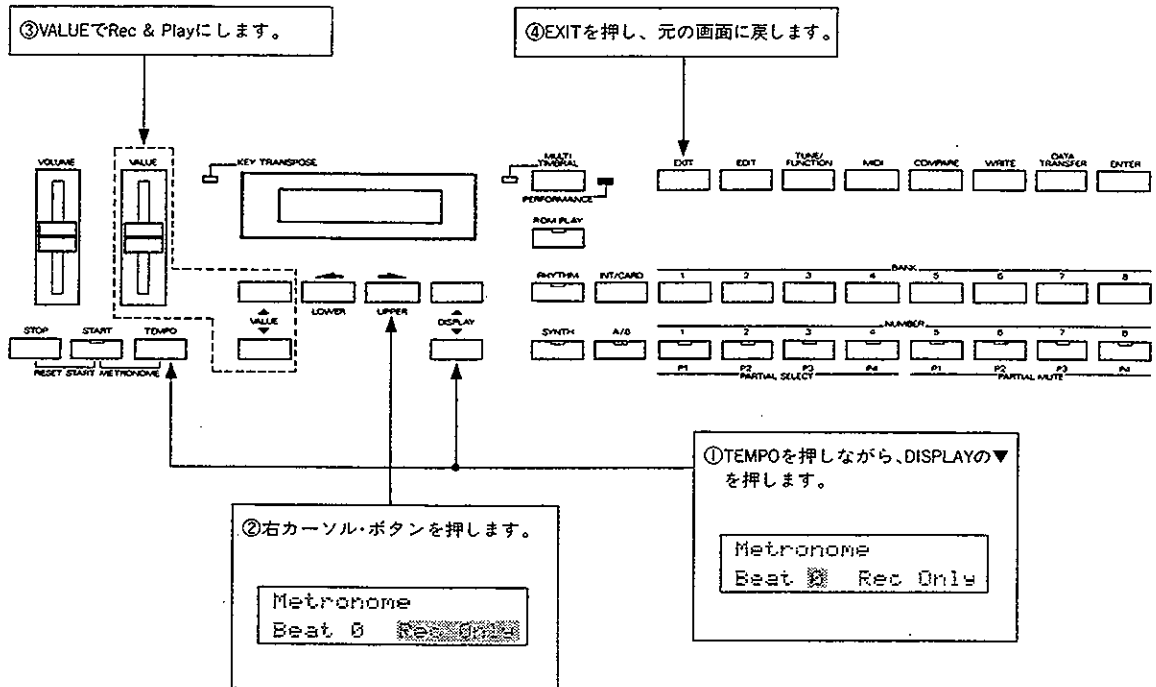
* ビートの設定は、電源をオフにしても失われません。



【リズム演奏に合わせる】

メトロノームをリズム演奏に合わせて同時に鳴らす場合は、メトロノーム・モードの設定を変更します。

*メトロノーム・モードの設定は、電源をオフにしても失われません。

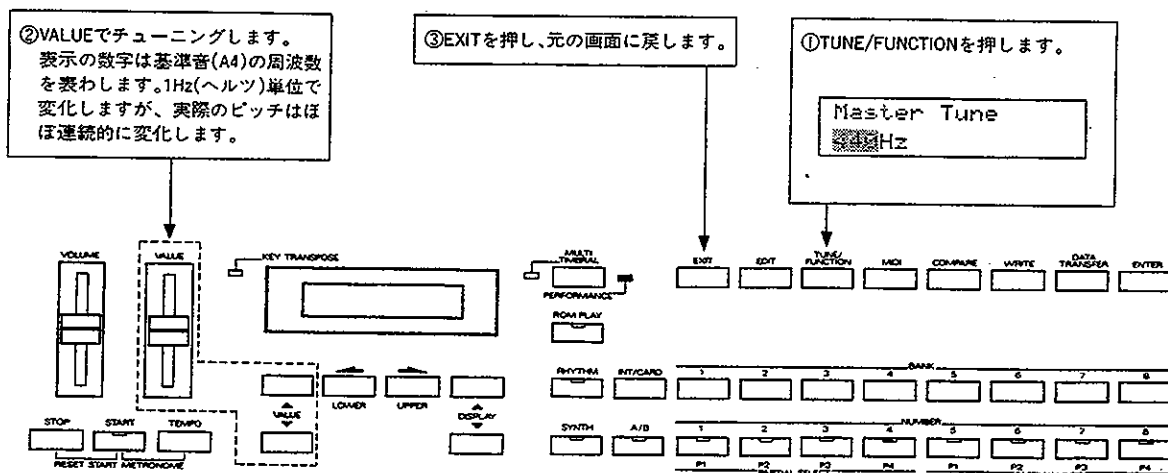


6. マスター・チューニング

他の楽器とピッチ（音程）を合わせるときに、マスター・チューニングを行いません。

* マスター・チューニングの設定は、電源をオフにしても失われません。

* トーンの設定（PCMサウンド）によっては、マスター・チューニングを行ってもピッチが変わらないことがあります。

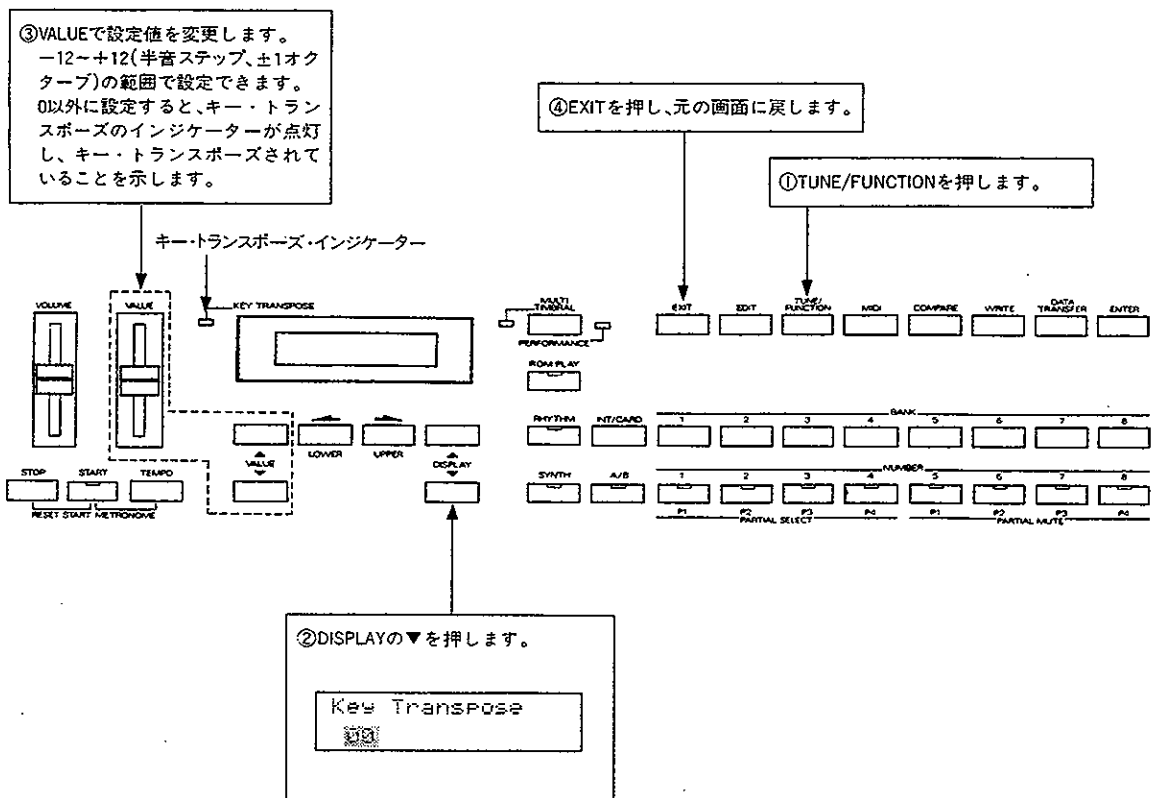


7. キー・トランスポーズ

キー・トランスポーズは、キーボードの音域を半音ステップで移動させる機能です。キー・トランスポーズ機能を使えば、まったく同じキーで演奏を行なっても、違う調の音で演奏することができます。

* キー・トランスポーズの設定は、電源をオフにしても失われません。

* リズムのセットアップやリズム・パターンの作成時は、キー・トランスポーズの設定は無効になります。

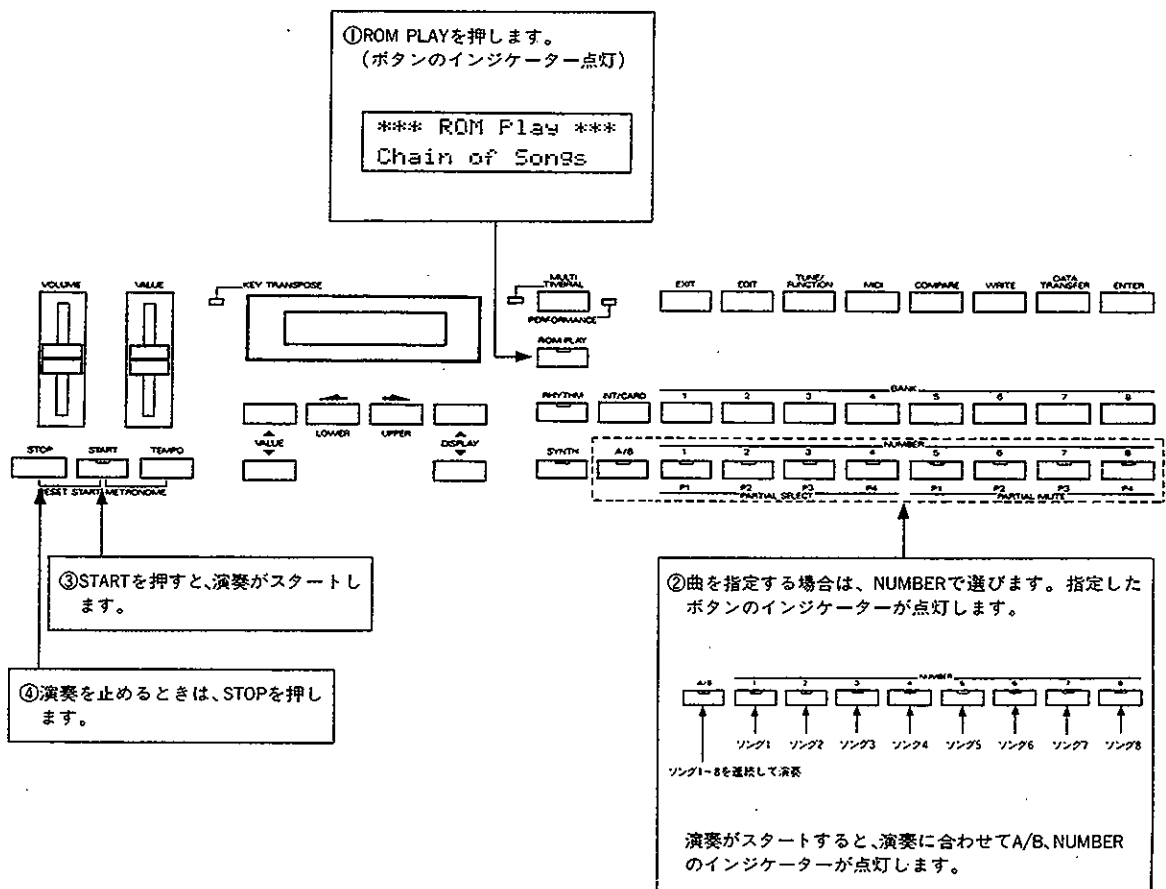


5 ROMプレイ

D-10には、本機の特長であるマルチ・ティンバー機能の効果を確認していただくための演奏曲が、8曲記憶されています。これらの曲を自動演奏させることを、ROMプレイといいます。

ROMプレイを行なう場合は、マルチ・ティンバー機能の効果を発揮するためにも、ステレオ・アンプを接続されることをお薦めします。

【操作】



ソング・ナンバー	ソング・ネーム	
1	Macho Memory	Music by Eric Persing ©1988 by Eric Persing
2	Jah May Kah !	Music by Amin Bhatia ©1988 by Amin Bhatia
3	Sugar Plum	Composed by Tchaikovski Arranged by Amin Bhatia
4	My Brother	Music by Adrian Scott ©1988 by Adrian Scott
5	Folk	Music by Amin Bhatia ©1988 by Amin Bhatia
6	Bumble Dee	Composed by Rymsky-Korsakow Arranged by Amin Bhatia
7	Mergatroid	Music by Eric Persing ©1988 by Eric Persing
8	Dinner Set	Music by Adrian Scott ©1988 by Adrian Scott

*ROMプレイを行なっているときは、キーボード演奏やベンダーなどのコントロールはできません。

*ROMプレイの演奏データは、MIDIアウトからは出力されません。

⑥ 主な仕様

D-10: マルチ・ティンバー・リニア・シンセサイザー
(リズム・マシン内蔵)

●鍵盤

61Key (ペロシティー付)

●音源

LA方式

最大同時発音数: 32音

●シンセサイザー部

パッチ: 128種類

ティンバー: 128種類

プリセット・トーン: 128種類

プログラマブル・トーン: 64種類

プリセット・リズム・トーン: 63種類

●リズム部

セットアップ: 85キー (C1~C8)

プリセット・リズム・パターン: 32種類

プログラマブル・リズム・パターン: 32種類

最大同時記録音数 (リズム・パターン): 8音

最大記録音数 (各リズム・パターン): 96音

最大記録小節数 (リズム・トラック): 500小節

●メモリー・カード (M-256D, M-256E)

パッチ: 128種類

ティンバー: 128種類

トーン: 64種類

リズム・パターン: 32種類

リズム・トラック: 1曲

リズムのセットアップ: 1セット

[フロント・パネル]

ボリューム・ツマミ

バリュウ・ツマミ

ストップ・ボタン

スタート・ボタン

テンポ・ボタン

バリュウ・ボタン ×2

カーソル・ボタン ×2

ディスプレイ・ボタン ×2

モード・ボタン

ROMプレイ・ボタン

リズム・ボタン

シンセ・ボタン

インターナル/カード・ボタン

A/Bボタン

バンク・ボタン ×8

ナンバー・ボタン ×8

エグジット・ボタン

エディット・ボタン

チューン/ファンクション・ボタン

MIDIボタン

コンペア・ボタン

ライト・ボタン

データ・トランスファー・ボタン

エンター・ボタン

ベンダー・レバー

[ディスプレイ]

2行16桁 (バック照明付)

[インジケーター]

スタート・インジケーター

キー・トランスポーズ・インジケーター

マルチ・ティンバー・インジケーター

パフォーマンス・インジケータ
ROMプレイ・インジケータ
シンセ・インジケータ
リズム・インジケータ
A/Bインジケータ
ナンバー・インジケータ ×8

[リア・パネル]

アウトプット・ジャック ×2
ヘッドホン・ジャック
スタート/ストップ・ジャック
ホールド・ジャック
MIDIコネクタ (イン/アウト/スルー)

外形寸法 : 974 (W) × 301 (D) × 98 (H) mm

重 量 : 8.8kg

消費電力 : 15W

付属品 : オーナーズ・マニュアル

(演奏編/応用編)

操作早見表

サウンド・チャート

What is MIDI

保証書

接続ケーブル (LP-25)

[オプション]

メモリー・カード (RAM) M-256D, M-256E

キャリング・ケース SHC-1

プログラマー PG-10

ステレオ・ヘッドホン RH-100

ペダル・スイッチ DP-2/DP-6

MIDI/SYNCケーブル

MSC-07/15/25/50/100

